

小金井市長  
白井 享 様

新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する住民投票条例実現への要請

2024年7月0日

東京都小金井市条例制定請求代表者

加藤了教、田代万里、杉本久也、  
岡田弘志、齋藤優子、吉田勇夫

小金井市がすすめる、新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設について、地方自治法に基づいて、現行案か見直し案かの意思を確認するための住民投票条例にご賛同いただけるよう要請いたします。

#### 【理由】

- 市庁舎等建設について、現行案か見直し案か、住民投票で決める直接請求署名数は3,584筆となり、条例制定に必要な署名数2,072筆を大幅に上回りました。これは市民が新庁舎・(仮称)新福祉会館建設について、最終的には市民が決めることを表したものといたします。
- 小金井市市民参加条例は、「市政の主役は市民です」「市民の望むところを市政に積極的に生かして行くことは当然です」。また、「市民参加及び協働に当たっては、異なる意見を有する者も尊重し、あらゆる関係者相互の信頼を築くことに務めるものとする」とあります。市民の税金99.5%を使って建設する市役所庁舎等建設事業の内容について、市民の意思を確認することは市民参加条例によるものです。
- 市役所や福祉会館は市民にとって極めて重要な公共施設であります。かつ新庁舎・(仮称)新福祉会館の建設費は約115億円、事業費は約163億円にもなる膨大な税金を使うこととなります。また将来のライフサイクルコストもかなりの金額がかかることが試算されています。現在の設計は複雑で、新福祉会館と庁舎の構造の違い、ひろばの面積、浸水対策など市民が指摘してきたことは解決されていません。これらの施設は70年以上使用する施設でもあり、慎重に検討する必要があります。これまでの市議会の審議経過や議決など尊重されなければなりません。最終的には市政の主役である市民の判断によって新庁舎・(仮称)新福祉会館の建設を決めることが必要と考え住民投票条例制定の直接請求署名を行いました。条例制定にご賛同いただけるよう要請いたします。 以上

## 2024都知事選

# 蓮舫氏、健闘も及ばず

7日投開票された東京都知事選、幅広い市民と野党などに推された蓮舫氏は大奮闘しましたが、及びませんでした。

蓮舫氏は選挙結果を受けて会見し、「多くの方々に温かい言葉と応援をいただき、思いを訴えることができた」と語りました。

### 市民と野党の共同候補

蓮舫氏は、市民と共産党、立憲民主党、社民党、生活者ネット、新社会党、緑の党など野党でつくる候補者選定委員会が一致して擁立。

神宮外苑再開発の見直しや裏金政治の一掃、格差で困っている人たちに光を当てる政策の充実を掲げました。

### ボトムアップで政策拡充

都民参加のボトムアップでの政策づくりを掲げ、選挙期間中も、多摩地域を含めた学校給食無償化、高校の入学金や施設費の補助制度の新設、国保料(税)負担の見直し、PFAS汚染での国



あいさつする蓮舫氏。7日、東京都千代田区

を通じた米軍要請など政策を拡充させました。

### 各地で市民が自主応援

市民団体や野党の奮闘に加え、1人または少人数でスタンディングなどを行う「ひとり街宣」も都内700カ所以上の駅頭に広がり、数千人が立ち上がるなど新しい運動が高まりました。

## 新たな民主主義の動き “政治変革の力”と確信

日本共産党の小池晃書記局長は7日の記者会見で、「結果自体は、非常に残念」だが、蓮舫氏が「自民党政治と小池都政を変える旗を掲げて立ち上がり、都民の声に耳を傾け政策を日々バージョンアップさせていったことは多くの都民を励まし

## 日本共産党

小池晃書記局長が会見

た」と発言。「無数の「ひとり街宣」が広がり、SNS上で多くの著名人が支持表明するなど、新たな民主主義の動きにつながった」と指摘し、「今後の東京と日本の政治を変えていくうえで、必ず大きな力となると確信している」と述べました。

東京民報  
ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX03-5972-1590  
2024年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介し、

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階)  
1965年11月12日第三種郵便物認可